

前回の逆ラジオ通信でも載せましたが 2年近く上昇傾向にあったサンフランシスコ観測点のデータが2年半ばに真っ赤な強いノイズに変わってから3月25日ごろから減衰傾向になってきました。仮にこのままのペースで減衰を続けた場合は 約1か月ぐらいで収束になり大型地震の発生が考えられます。サンフランシスコ観測点は、実際は少し南のサンマテオ市にあります。すぐそばを巨大なサンアンドレアス断層が通っていて過去に何度も大地震を引き起こしています。この広い北米でまだ観測点がたった1つという状況のため予知の精度は望むべくもありませんが このデータを頼りに、なんとか大地震を予知して 被害を少なくすることでお役に立てていただき、今後、北米西海岸の観測点の増強につなげたいと思います。

~~~~~

★★逆ラジオ通信★★ No.08W-210331 日号

●【サンフランシスコ】は壁立ちのデータが、2/16から更に大きい赤い壁状のデータになっていましたが 数日前より収束傾向になっています。このまま収束すれば、今から一か月程度のうちにサンマテオ周辺 200km範囲で、M6クラスのかかなり大きい地震が予測されます。観測点管理者様ご注意ください。

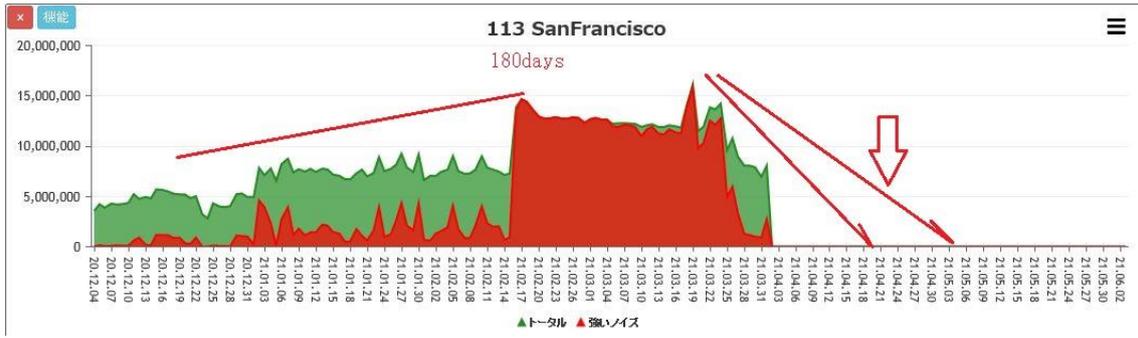
サンフランシスコ 720日間データ (日ごと 2年間)



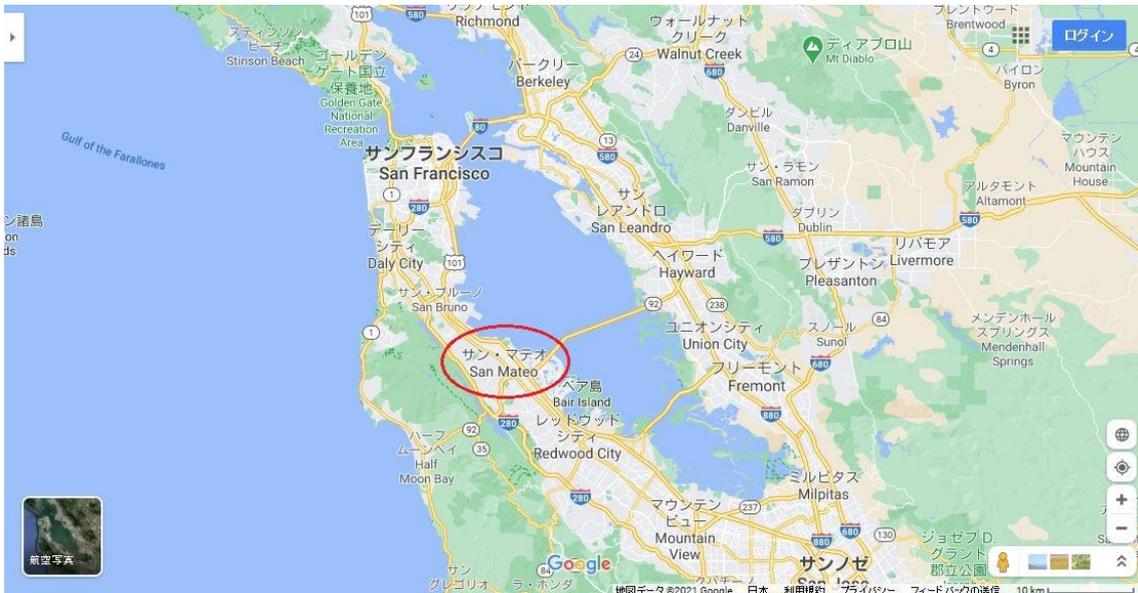
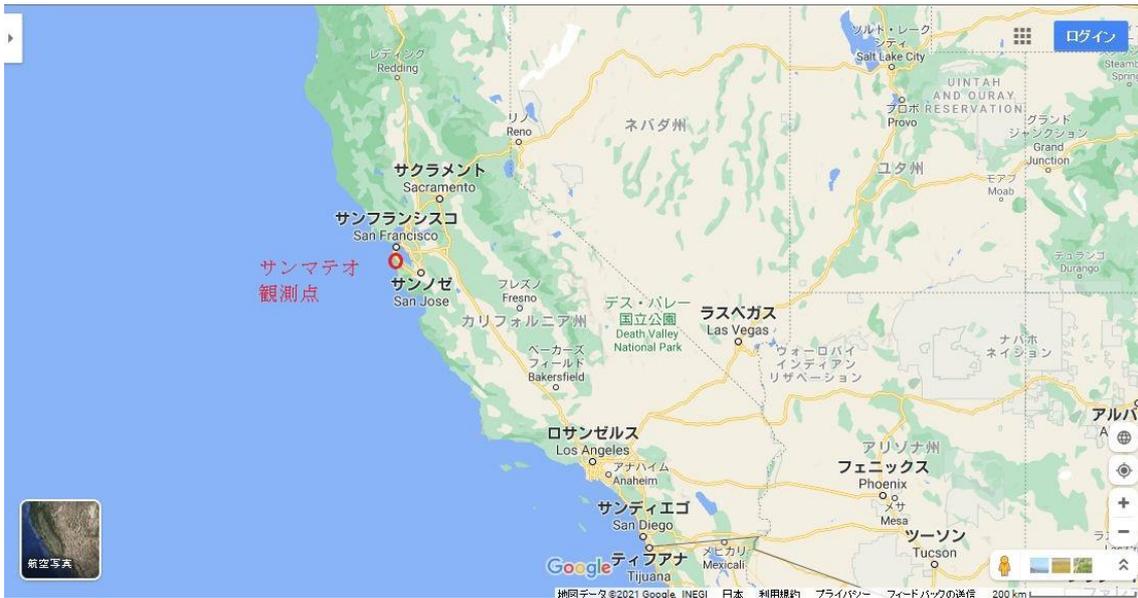
サンフランシスコ 360日間データ (日ごと 1年間)



サンフランシスコ 180日間データ (日ごと 半年間)



位置関係



参考に：サンアンドレアス断層（San Andreas Fault）は、アメリカ合衆国太平洋岸のカリフォルニア州南部から西部にかけて約 800 マイル（約 1,300km）にわたって続く巨大な断層である。断層の活動によって周辺地域は地震の多発地帯となっている。



(ネットより)



サンアンドレアス断層: GOOD BAD UGLY

(ネットより)

参考：サンアンドレアス断層（1300km）と日本列島の大きさ



(ネットより)